

富士と大海原を楽しむ 明神ヶ岳～明星ヶ岳

実施日 2020年11月15日(日)
 天候 晴れ/曇り
 リーダー 渋谷京子
 参加者 涌井良明、山崎富美恵、石久藤、伊藤久雄、石原勝正、徳山敬子、宮崎敏男 計8名
 費用 小田急・箱根登山鉄道2792円(新宿起算) + 280円 計3,072円
 タイム 小田原駅(21)大雄山駅(10)道了尊(9:20)最乗寺~休(9:45~50)明神ヶ岳見晴小屋(10:30~10:40)神明水(11:10~15)休(11:50~55)明神ヶ岳(12:35~13:10)休(13:45~50)明星ヶ岳(14:35~45)登山口林道(15:35~40)宮城野橋(16:00~16:20)強羅駅~湯本駅

小田原駅から短い電車でコトコトと乗っていると、これから登る明神ヶ岳の寝そべったような姿が車窓に見える。

駅前からバスに乗り終点まで。両側に杉の巨木が林立する中、最乗寺を右手に



ここからは木の根が出た急坂の登りだ。このコースは最も古い箱根道と云われ、天狗でも出て来そうな樹林帯のほの暗い道をひたすら進む。

林道を二度横断すると明神ヶ岳見晴小屋、避難小屋でだいぶ朽ち果てているがベンチが置かれ休憩にもってこいだ。

小屋の少し上で尾根に出ると空が広がりがなだらかな道を行く。両側にスキの穂が美しく耀き、天を仰ぐと所々に黄や赤の紅葉が！

ここはシャッターを切らずにはいられない。

神明水に到着して一休み、糸のような水が滴っていた。一登りすると展望が開け小田原の市街地だろ



うか眼下に見える。山のふところを思わせるなだらかな草原を横切り、溝状になった道を登って漸く明神水、右に急な斜面をひたすら登ると分岐から明神ヶ岳の

山頂に着いた。少し遅い昼食タイム、背丈まである箱根笹を風よけに陽だまりが気持ち良い。

箱根外輪山の全容も目に飛び込み、富士の前で一際目立つ突起状の山が金時山だ。

写真撮影後360度のパノラマを楽しみ下山にかかる。両側を笹で囲われた緩やかな道を下って行く



と宮城野への分岐、真っ直ぐに明星ヶ岳へ向かう。

幾つかのアップダウンを繰り返し尾根道を小1時間行くと漸く明星ヶ岳、頂上らしくない頂上である。最後の

エネルギー補給後少し戻った所から宮城野に下る。途中で大文字焼(8月16日)の大文字にぶつかる。

これは遠目に見ないとピンと来ないかも？展望のない灌木の中の急な下りが続く。電車の音が聞こえるようになると登り口は近い。宮城野橋バス停までは15分程である。

さて、秋の箱根路！バスで15分とあるが毎度の事渋滞に遭い1時間以上掛かりそうなので協議した結果、強羅から登山鉄道に乗り湯本を目指す事にした。この時代とても便利！

スマホを駆使して渋滞情報、強羅への近道が。ラッキーと喜んだのも東の間、石段が天に向かって延々と続いていて、しかも45度位の急坂が！散々歩いた後のバツゲームの様？

今日の山行で1番の地獄坂となりました(泣)湯本に着く頃は・・・秋の陽はつるべ落とし！

本日は遠方にも関わらず、長丁場のコースにご参加された皆さん有り難うございました。



表題の「富士と大海原を楽しむ」昨年のリベンジですが楽しんで頂けたら嬉しいです。

(記・渋谷 京子)

写真提供 (涌井良明/石原勝正/宮崎敏男)